

第24回 全国棚田(千枚田)サミット

開催地 長野県 小谷村 おたりむら

開催日 平成30年9月8日(土) 9月9日(日)

テーマ これからの農業を考える！

～山間地農業の共存の在り方～

開催趣旨

高齢化・担い手不足など全国的な問題が山積みの農業。この小谷村の農業情勢について、大きな転換期を迎えています。

このままいくと、農地から荒野や山林へ転換され、民家・棚田・里山が一体とした農村風景が壊滅してしまう。

小谷村の良いところを理解して応援してくれる『集う仲間』。また、そこで生活する人々が農地を守っていく『守る暮らし』。小谷村の実情を発表するとともに、この環境を踏まえ、地勢や環境から考えた農地保全体制や、農業と生き物との共存、また観光資源との棚田のつながりなど、今後に向けた政策について考えます。

鞍掛山麓千枚田保存会から12名が参加、今回、小谷で開催されるサミットのテーマ・開催趣旨に同様な問題、悩みを抱く四谷の千枚田、貴重な実情を少しでも多く吸収し、今後の保全活動の糧としたいと意気込んで参加してきます。

四谷の

千枚田だより

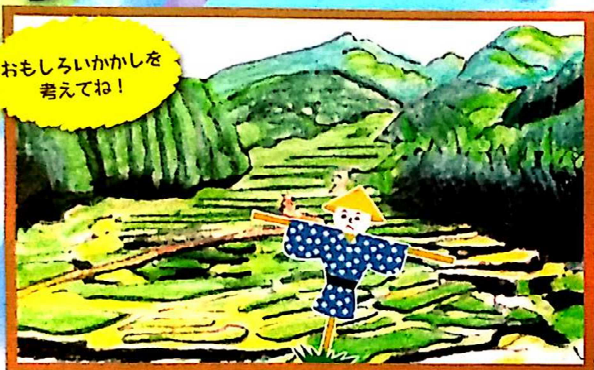


第180号



「四谷の千枚田とかがし」 絵画コンクール

おもしろいかかしを
考えてね！



受付期間 平成30年
7月20日～8月31日(夏休み期間中)

- テーマ 「かがしのある田んぼの風景」を自由に描いてください。
- 告知方法 チラシ、Web (当NPO法人ホームページ: <http://kokukome.com/>)
- 応募対象 東三河の小学校5、6年生
- 応募方法 チラシが設置されている場所にある専用ハガキでご応募ください。
- 審査方法 9月下旬に鞍掛山麓千枚田保存会、東三河郵便局が応募者の中から入賞者を選出。
- 入賞賞品 入賞者50名に賞品を発送するとともに、当NPO法人ホームページ上に掲載。
- 主催 鞍掛山麓千枚田保存会、東三河郵便局
- 協賛 NPO法人国内産米の粉伝統食文化推進ネットワーク
- 後援 新城市教育委員会、新城市、新城市観光協会、奥三河観光協議会、東愛知新聞社

絵画コンクール「四谷の千枚田とかがし」

おもしろいかかしを考えてね

受付期間 平成三十年七月二十日～八月三十一日(夏休み期間中)

応募対象 東三河の小学校五、六年生

応募方法 チラシが設置されている場所にある専用ハガキで応募

審査方法 九月下旬に保存会、東三河郵便局が応募者の中から入

賞者を選出、入賞者五十名に商品を送付するとともに

当NPO法人HP上に掲載 (<http://kokukome.com/>)

主催 鞍掛山麓千枚田保存会・東三河郵便局

協賛 NPO法人国内産米の粉伝統食文化推進ネットワーク

後援 新城市教育委員会 新城市 新城市観光協会 奥三河観光協議会

東愛知新聞社

礼状紹介（既報）

三校から、お礼の文集が届きましたので、紹介（抜粋）します。

市立鳳来寺小学校五年生

七月十三日、「大代の山崩れ、被災者の子孫から学ぶ」

四谷の千枚田へ行って小山さんや夏目さんなどの千枚田であつた山くずれのことがくわしい三人の人に教えてもらいました。話をしてもらったなかでも、一番心にのこつたことは山くずれで高橋庄松さんの家族五人が家ごとながされたということとです。家ごとながされた時、庄松さんはほかのところへ行つていたためながされずにすんだそうです。その後庄松さんは一人になつてしまい、それでも土にうまつた田んぼを一人でほりおこしたというところが一番心にのこつています。

今日は山くずれのことをたくさん知れたのでいい勉強になったと思います。

市立舟着小学校五、六年生

七月十七日、「千枚田野外教室」

小山さん 先日はいそがしい中、ぼくたちに四谷の千枚田のことを教えてくださりありがとうございました。おいしいお米にするためにわき水を使っていたり、カエルを使

うなどの工夫があつてすごいと思えました。限られた時間と面積でおいしい米を作るのですごいと思えました。ぼくも自然やかん境を守ろうと思えました。六年 戸田大晴

市立鳳来中部小学校五年生

七月二十四日、「多様性に富んだ千枚田を体感、自然環境、文化などを学ぶ」

小山さんへ 四谷の千枚田を、たくさん教えてくださりありがとうございました。千枚田の一番てっぺんに登った時、すごくきれいでした。千枚田の田んぼがたくさんみえてすてきでした。小山さんのぼうしもオリジナルと言っていたので、世界で一つしかないのかなとおもいました。田んぼも一つ一つがきれいでした。小山さん、千枚田をこのまま守っていつてくください。比企見遥

研修旅行

七月二十二日、連谷老人クラブ（二十三人）は恒例になった「みかわ温泉 海遊亭」に日帰り研修旅行を行った。

海遊亭では江戸時代から親しまれた下町歌舞伎を観劇、昼食は海鮮料理に舌鼓を打ちながらカラオケを楽しんだ。帰路は、海鮮問屋「やますい」で海の幸を隣近所に配りお

せないほど、ドツサリ購入、ご満悦。

毎年、二月と七月の研修旅行では定番となった（舜）による身近な出来事などの情報を喋ることになっている。今回は、週に数回はお邪魔する市役所の新庁舎について独断と偏見で話をしてみた。まず、①豊橋方面から来ると、知らずに通り越すほど存在感がない。②交差点の四辻の真ん中が正面玄関駐車場で、進入途中でガードマンにストツプをかけられ、ニツチもサツチもいかなくなる。（ガードマンはいつまで、あそこに立つづらかのん・・・）③階段は目が回るで、気を付けんと危ない。等々。ほかにも色々話をしてみたが、マイクの音が後ろまで届かない様子、ガラツと趣をかえ景品付きで「ビンゴゲーム」をしたら、これが、また大受け、皆んな、真剣に頭の体操にのめり込んだ。

後日、邦ちや（七十四歳）から、こんどの研修旅行は、よかつたぞんと褒められちゃつた。

超リアルな案山子

「八雲だんこ」で知られる鈴木社長さんは、四谷の千枚田を守る百姓のご苦労に、少しでもお役に立てばと千枚田の古米（余剰米）を地域特産「千枚田五平餅」として郵便局の

宅配を通し、全国展開を行っている。案山子は「欽ちゃん&香取慎吾の全国仮装大賞」に毎回出場の設定津具「チームTAKO」の制作である。



おかげさま

サミット開催決定を機に何かやらなければと「四谷の千枚田だより」を発行。地域の人々に宥め賺され、十五年間、続けることができました。これも、皆さんや地域の宝「千枚田」のおかげと、感謝しております。（舜）

行 平成三十年八月二十日

鞍掛山麓千枚田保存会

発 文 責 小山舜二